

長岡病院心理課主催

第15回 認知行動療法ワークショップ

～感情調節困難な方のための弁証法的行動療法～



今回のテーマは、弁証法的行動療法（DBT）です。DBTは、境界性パーソナリティ障害の方の自殺企図や自傷に効果があるだけでなく、発達障害や摂食障害などにおける感情調節困難に対しても、その効果が認められています。今回は、DBTを最初に日本に紹介され、DBTの研究や臨床でもご活躍の遊佐安一郎先生をお招きして、その理論や技法を学ぶ機会にしたいと思います。

日時：2018年5月20日（日）

10:00～16:30（いつもと時間が異なります）

**場所：長岡病院カンファレンスルーム
（阪急西山天王山駅より徒歩3分）**

料金：10,000円

対象：保健・医療・福祉・教育・司法・産業の専門職

講師：遊佐安一郎先生

- 長谷川メンタルヘルス
研究所所長
- 教育学博士

若井貴史

- 長岡病院心理課
- 臨床心理士

お申し込みは以下のサイトから

<https://goo.gl/peL81R>

お問い合わせ

長岡ヘルスケアセンター（長岡病院）心理課

TEL：(075) 951 - 9201（代表）

E-mail：nagaokashinri@gmail.com

※臨床心理士の資格更新ポイント（2P）を取得できます。